

2009.

9/15
vol.97

まいばら

ひととまちをつなぐ市政情報誌



主な内容

東部給食センターが稼動しました	2
「ふるさと応援寄付金」運用状況を公表	12

次回の広報まいばら発行日 10月1日号 9月24日(木)

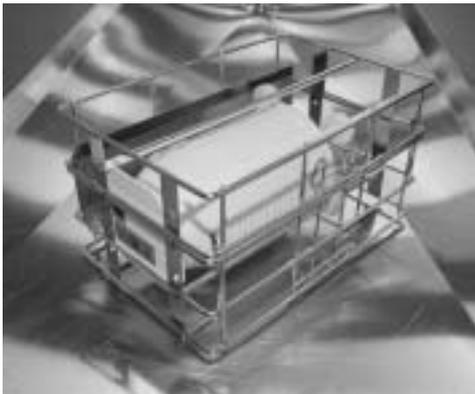
安心安全給食をおとどけします

東部給食センターが 稼動しました



●施設の工事概要●

建 物：鉄骨造2階建
 延べ床面積：3,261.94m²
 建築面積：2,808.13m²
 敷地面積：6,890.68m²
 事業費：14億4,900万円



カゴごと皿を洗える食器洗浄機を採用するなど、新しいセンターは機能性も重視

東部給食センターでは、子どもたちの健やかな成長を願い安心で安全な給食づくりを目指していきます。

も持っています。

また、施設2階部分には見学コーナーや食育推進のための調理研修室を設け、食育の発信基地としての機能も持っています。

平成20年9月から建設を進めてきた米原市立東部給食センターが7月末に完成し、8月17日には竣工式を行い、その後試運転を繰り返しながら9月2日から本格稼動しました。

このセンターは、市内18校園約3,000食の給食を賄える施設で、細菌やカビの繁殖を抑えるなど衛生管理に配慮した「ドライシステム」を採用し、各部屋は作業動線を考慮して、壁やカウンターで仕切られた「パススルー方式」となっています。

「東部給食センター」で学校給食を食べよう

センター見学も行います

食育の発信基地として新設された東部給食センターで、給食への理解を深めながら食への関心をもっといただくことを目的として、給食の試食会を開催します。栄養バランスが良く、「おいしい！」と評判の米原市の学校給食を、この機会に味わってみませんか。

■日 時 10月23日(金) 10時～13時
 ■定 員 30人

- 参加負担金 221円(当日ご持参ください)
- 申込方法 住所、氏名、連絡先を電話、FAXで連絡
- 申込締切 10月2日(金)※申込は先着順
- 日 程 10時～11時 施設内見学
 11時～12時 講話(栄養教諭 筒井つや子)
 「子どもの頃からの食習慣について」
 12時～13時 給食の試食

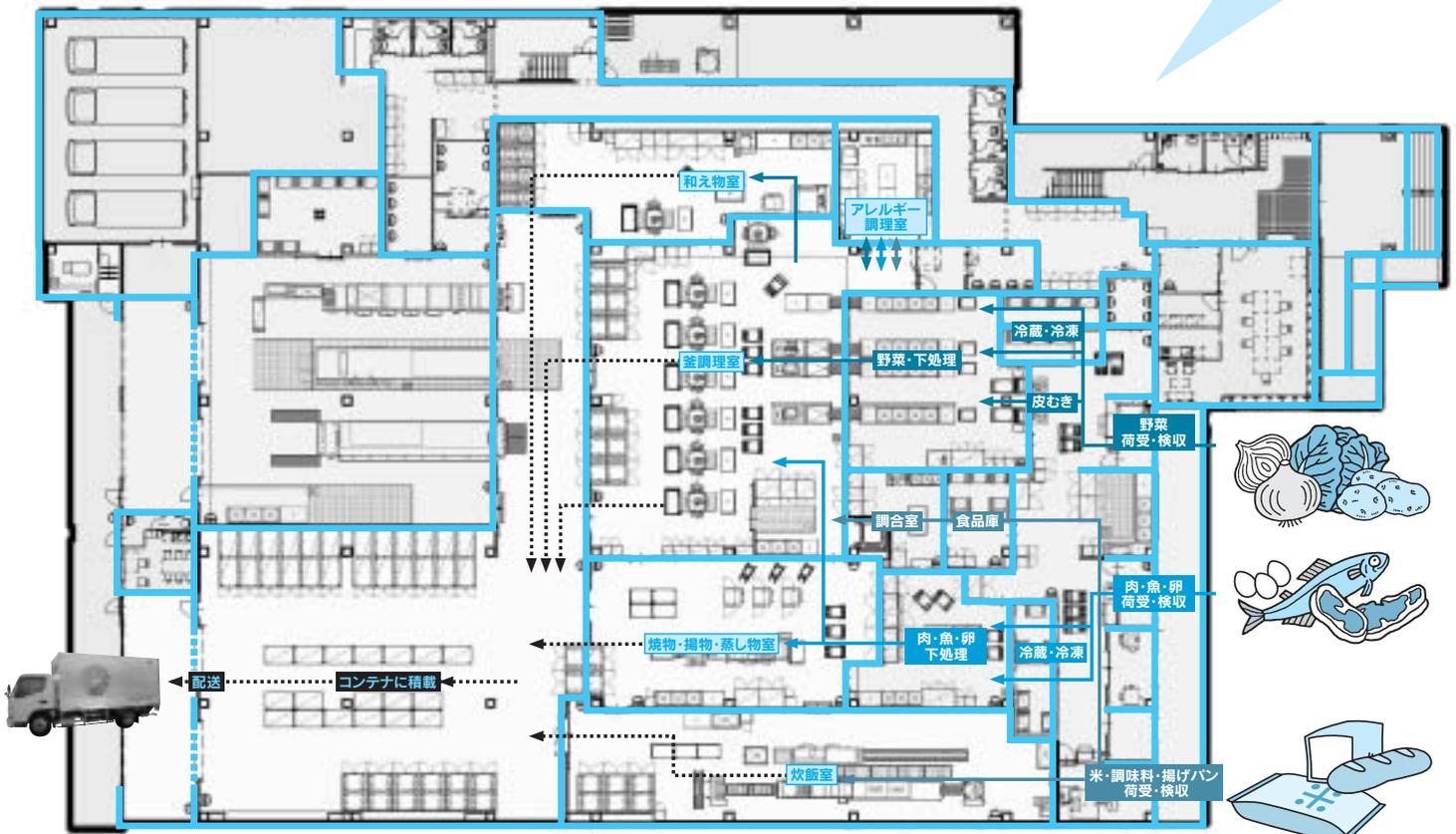
■ 健康づくり課 ☎ 55-8105 FAX 55-8130

施設の特徴

- 各部屋は壁やカウンターで仕切られ、随所に「パススルー方式」を採用
- 独立したアレルギー対応の調理室を設置
- カゴごと食器を洗える自動洗浄機の導入により、作業効率を大幅にアップ
- 市民開放型の調理研修室を設置するとともに、調理や洗浄など一連の作業を見ることができる見学コースを配置
- 環境に配慮したオール電化熱源システムの採用

What's パススルー方式

食材は野菜類、肉類など別々の入り口から搬入し、それぞれ専用ラインで調理します。各調理室への食材の受け渡しはカウンターや対面開きの冷蔵庫、戸棚を通って行い、人が持ち運ぶことがなく衛生的で作業効率の良い施設となっています。



お問い合わせ 東部給食センター ☎55-1403 ㊟55-1913

お問い合わせ
山東学校給食センター
☎55-2718 ㊟55-2745



改修工事を行う米原給食センター

米原学校給食センターでは、来
年2学期から近江地域の小・中学
校の給食を賄うため、この8月か
ら改修工事に着手しました。
近江・米原地域を合わせると現
在の1,200食から2,000食
に配食が増えることから、既存施
設を活用しつつ機械設備の改修や
外構工事を行います。工期は平成
22年1月末までとなっています。
この工事が完了し調理業務準備が
整う来年3月までは、事務および
調理業務を山東学校給食センター
で行います。

米原学校給食センター
の改修工事着工!!

昔ながらの遊びを通じて世代交流。 キッズ大集合！つくってためしてきそってあそぼう（8月21日）

高齢者みずからが学び、持てる力をさらに磨き、社会参加や地域づくりにおける担い手づくりを目指して開講されている「滋賀県レイカディア大学」。大学で地域文化学を学ばれている学生のみなさんが子どもたちと交流をしながら昔のおもちゃづくりや遊び、文化などを子どもたちに伝えるイベントを米原公民館で開催されました。

この日集まった学生と子どもたちは、いっしょに作った手作りの水鉄砲やゴム鉄砲などのおもちゃを手に昔の遊びを楽しみながら、夏の楽しい思い出づくりができました。



プロの演奏技術を伝授。 ブラスクリニック開催（8月26～28日）



米原市内の中学校吹奏楽部を対象に技術向上やビックバンドを組んで演奏するすばらしさを感じてもらおうと開催されているブラスクリニック。参加した5校の吹奏楽部の部員たちがそれぞれの各パートに分かれてきれいな音を出すコツや日常の基礎練習などをプロの演奏家たちから指導を受けました。

クリニックの最終日には全員がステージにあがり、スペシャルバンドを編成。部員らはクリニックで練習した課題曲2曲を演奏し、大編成で演奏する楽しみを感じました。

山頂目指して全力疾走！ 夢高原かっつび伊吹2009（8月30日）

伊吹山ふもとのジョイ伊吹から山頂まで、標高差1157mを一気に駆け上がる名物イベント「夢高原かっつび伊吹2009」が今年も開催されました。市内外から852名が参加して行われ、一足早く秋を感じられる登山道を走り抜けました。

結果：男子総合 1位 岩本晃典さん(静岡県) 1時間2分2秒
女子総合 1位 鈴木純子さん(兵庫県) 1時間16分27秒



米原市長
泉 峰一

多くの地区では自主防災組織を立ち上げていただいています。これを生かしたものとす。市行政も一緒に地域防災マップを作成するなど、めたいと考えています。

先日、阪神淡路大震災を経験された元芦屋市役所の方のお話をお聞きしましたが、地震災害では人命救助は1日目が勝負、これには各地域の住民の方の助け合いが重要とのことでした。

要です。

米原市ではその後、幸いにも大きな自然災害は発生していませんが、「災害は忘れた頃にやってくる」といいます。今年には九州・中国地方の集中豪雨や静岡の地震など、多くの被害をもたらしました。最近では雨の降り方も変わってきたと感じますし、湖北地域には断層帯も通っており、普段から災害への備えが重要です。

今年には姉川大地震から100年、伊勢湾台風から50年目を迎えます。

市長
エッセイ
みね日和
びより

米原歴史街道

米原市の歴史・文化財を歩く 55

春照八幡神社太鼓踊

―五年ぶり奉納―

県選択無形民俗文化財

春照は、北国脇往還沿いに開けた宿場町です。九月二三日、宿場の面影を残す町並みの北に鎮座する八幡神社の秋祭りに、五年ぶりに太鼓踊りが奉納されます。

太鼓踊りは雨乞い踊りともよばれ、江戸時代の寛文一一年（一六七二）に、長い日照りに苦勞した農民がはじめたと伝えられています。生命・財産にかかわる雨乞いは野良着のままで必死に踊り、願いかなって豊作となった秋祭りには、着飾ってお礼の踊りがおこなわれました。また、春照は、もともと大原荘に属しており、江戸時代大原荘一六カ村では、日照りのたびに総鎮守の岡神社に雨乞い踊りを奉納して祈願したといわれています。いまでも、街道を練る「道行き」の際に、常夜灯のところで岡神社をはるかに拝んで一踊りする

のはそのなごりです。

その後、戦争で中断し、昭和二二年の干ばつで踊られたあと再び途絶えていましたが、昭和四〇年に復活することが決定され、青年団の協力で一八年ぶりに奉納されました。翌年に保存会が結成されて今日まで傳承されています。ちなみに、このとき隣村として来賓に招待された上野の人が、村にもどつて「上野でもや



▲ 山伏

ろう」と青年団にはつばをかけたのが、上野の太鼓踊復活のきっかけなのです。

踊りは、前夜に秋葉神社へ奉納される「足揃え」がおこなわれ、当日の本踊りは、秋葉神社のお旅所を出発して八幡神社まで行列する「道行き」と、八幡神社境内で奉納される「返礼踊り・振り踊り」で構成されます。夜には「笠破り」がおこなわれ、総勢二百人をこえる区民が参加します。

変化する太鼓踊り

太鼓や鉦、笛や音頭が中心の行列で異彩を放つのは、法印・山伏・大うちわでいかにも雨乞い踊りにふさわしい役方です。法印・山伏は山野に伏して山の靈力を身につけ、超人的技能を体得した人々で、山伏のホラ貝は水と関係の深い楽器です。巨大なうちわは風を起し、雨をよぶという想定です。明治二二年の踊りでは山伏が四四人もいて「山伏踊り」というものもあつたようです。

また、奴振りは、北国脇往還を行き来する大名行列の華麗さ、いなせな奴振りをまねたものと伝えられ、この華麗な奴振りは春照の返礼踊りの先頭を練り、道行きの中心となるものです。奴振りがいつから太鼓踊りに取り入れられたかわかりません



▲ 奴振り

が、明治二六年の記録に配役が記されているので、これ以前にさかのぼるようです。また、奴さんの胸や腕に花札の凶案や龍虎、美人画、役者絵、キャラクターなどの絵を描くのも近隣の奴振りにはないもので、昭和四二年から描かれています。

奴振りを取り入れ、さらに人目を引く絵を描いた春照では、いつのころからか神社奉行という役柄も加わっています。かつておこなわれた大松明を復活させた上野では、古い写真によろい武者などの道化役が写っています。両地区の打ち上げの笠破りでは思い思いの変装で踊られるなど、風流化され大規模な祭礼行事となった「返礼踊り」には、毎回工夫と変容が加えられてきました。

（まなび推進課）

健康きらり

高齢社会を健康で明るく

「ヘルスアップ」きらめき」

「健康きらり」では、健康で明るく元気にくらすための情報を紹介しています。



今から4年前、健康診査で高血圧、高血糖、高コレステロールなどにより、食生活の改善や運動の指導を受けた方を対象として市が実施したヘルスアップ運動教室に参加し、運動指導士の先生や保健師、栄養士さんから熱心な指導を受けました。

運動教室は、平成19年3月に終了しましたが、「このままで終わりがたい」「健康な身体は自己管理が肝心！一人で続けられなくても仲間とならできる！」と参加者で話し合い、「ヘルスアップ「きらめき」と命名

し、平成19年4月から今日まで、林香織先生の指導のもとに会員40名が西部デイサービスセンターで活動しています。

メンバーは、還暦前後の者同士で、毎週水曜日に脚力、腹筋、ダンベルエクササイズ、ストレッチ体操などを音楽とともに自分の体調に合わせて行っています。1時間元気に、時には雑談を交えながら、朗らかにいい汗を流しています。先生からは若いお母さんより元気でパワーがあるとほめられたりもします。

これからも、自分の身体は自分で守り、高齢社会を健康で明るく暮らすことで、少しでも医療費が削減できればと思いつながら、仲間と楽しく健康づくりを続けていきます。



ヘルスアップ「きらめき」についてのお問い合わせは健康づくり課まで。

お問い合わせ 健康づくり課 (山東庁舎) ☎55-8105

在宅長寿の7ヶツ

健口であることの大切さ②

80歳までに20本の歯を残すことを目標とする「8020(ハチマルニイマル)」運動が始まって20周年を迎えます。そして、今夏に、窒息予防や五感での味わいを考慮し、1030回以上噛むことを進める「噛ミング30(カミングサンマル)」運動が始まりました。

よく噛んで食べるということは、脳を刺激して認知症の予防につながると言われています。また、入れ歯が合わないからと外したままで過ごしている方を見かけますが、それではとっさの時や力を入れない時に十分な力を入れることができません。きちんとあった入れ歯をすることで、踏ん張る力が入りやすくなり、歩くときの転倒予防にもつながります。これが自分の歯であるほうがいいのは言うまでもありません。

お口の健康が保たれていないと、食べる楽しみがもてなかったり、人との交流が減ってしまったり、元気に活動することができなくなります。毎日のお手入れとよくかんで食べることを習慣にしましょう。

舌や頬の筋肉を鍛えることで飲む込む力を高め、食べ物を気管に飲み込むことで起こる(誤嚥性肺炎)の予防になります。

健口ストレッチ



あごの関節を大きくひろげます。



くちびるやほっぺた、口まわりの筋肉を刺激。表情が豊かになり、笑顔UPに。



舌の運動をスムーズにし、のみこみもよくなります。

お問い合わせ 高齢福祉課内 地域包括支援センター (山東庁舎) ☎55-8110

まいばらんす 給食レシピ



バランスのとれた食生活を送れていますか？給食の献立を参考に、ご家庭での食事を見直してみてください。

7月14日の給食



栄養士からのワンポイントアドバイス

具の青みは、三つ葉や、ゴーヤでもあいます。ゴーヤは、中の綿をとり、2mm位の線に切って使ってください。

苦みも感じませんよ。苦手な野菜もかき揚げにすれば食べられますよ。



お試しメニュー



モロヘイヤ入り かきあげ

材料（4人分）

さつまいも	50g	かぼちゃ	50g
たまねぎ	30g	にんじん	25g
モロヘイヤ	25g	桜エビ	10g
小麦粉	10g	卵	1/4
脱脂粉乳(スキムミルク)	1/5	塩	少々
揚げ油	30g		

作り方

- ① さつまいも、かぼちゃ、たまねぎ、にんじんは千切りにします。
- ② モロヘイヤは1cm幅に切る。
- ③ ボールに①②を入れ、桜エビ、小麦粉、卵、脱脂粉乳、塩を入れ、水を足してある程度まとめます。170度位に油を熱し、かき揚げにします。

もしものための まめ知識

台風や集中豪雨によって、普段は穏やかに流れる川が一変して猛威をふるったり、状況によっては道路が水につかって川のようになってしまいうことも。

このようなとき、防災無線などの災害情報をしっかり確認しながら、次のようなことに注意して、落ち着いて行動しましょう。

★ 洪水から避難する時のポイント ★

◎水位の確認

一般的に歩ける深さは“また下”まで。水深が腰まであるようなら無理は禁物。高所で救助を待つのが安全。

◎足元に注意を払う

ひもでしめられる運動靴をはき、長い棒を杖がわりにして安全を確認しながら。

◎子どもから目を離さない

はぐれないようお互いの身体をロープで結んで避難。特に子どもからは目を離さないよう細心の注意を。

「みて」・「体験して」防災を考えよう

ミュージカルで消防団を「応援」 ミュージカル「地震カミナリ火事オヤジ」

大切な家族や命を守る消防団・自主防災組織を描く。
劇団ふるさとキャラバン（観覧料1,000円）
9月21日（月・祝）18:00～
県立文化産業交流会館

「参加」して地域で実践する 米原市総合防災訓練

自衛隊の災害救助活動啓発など、新規メニューも！
9月27日（日）8:30～
三友グラウンド（西山）

「体験談」から水害対策をまなび 伊勢湾台風50年シンポジウム

～水害に強い地域づくりに向けて～
9月27日（日）13:30～
米原公民館

お問い合わせ
防災安全課（近江庁舎） ☎52-6630

「男性と女性がともに認め合い、自分らしくあらゆる分野で活躍できる社会」、これが『男女共同参画社会』です。しかしながら、現実には「男性は仕事、女性は家庭」といった男女の固定的な性別役割分担意識が根強く残っています。

市では平成19年6月に「米原市男女共同参画推進計画」を策定し、その実現に向けて計画的な施策の推進に取り組んでいます。今年度は男女共同参画による地域づくりの重点をおき、市内3自治会（上野区・梓区・米原区）をモデル地域に指定しています。



男女共同参画実践モデル地域

合同研修会を開催

そこで、そのモデル地域の方を対象に、男女共同参画社会についてさらに理解を深めてもらおうと7月22日に人権センターSCプラザで合同研修会を開催しました。

研修会では、元彦根市男女共同参画課長の 大橋 秀子さんを講師に迎え、先駆的な取り組み経験をともに、男女共同参画の基本的な知識からモデル地域にチャレンジする際のポイントまで具体的な事例をあげてお話をいただきました。

参加者からは「男性・女性といわず、何でも共同で取り組むことが大切だと感じた」「これからは男だから、女やさかいという考えはやめようと思う」「各種団体役員に女性の登用が必要」といった感想が多く、地域における男女共同参画社会の推進に向けた意識を高めることができました。



お問い合わせ

総務部 人権推進課（米原庁舎）

☎ 52-6629
☎ 52-4539

「さんかく塾」で学んでみませんか!



喜びと責任を分かち合い、一人ひとりが輝く社会をめざして、男女共同参画基礎講座「さんかく塾（基礎編）」を開講します。男女共同参画に関心のある方ならどなたでも受講でき、各講座の単独受講も可能です。

申込 2日前までにFAX・メールなどで申込
定員 100名
参加費 無料
託児 6ヶ月～未就学園児を対象
(無料・事前予約制)

お問い合わせ・お申し込み
滋賀県立男女共同参画センター「G-netしが」
☎ 0748-37-3751
☎ 0748-37-5770
E-mail CT30@pref.shiga.lg.jp

「さんかく塾」基礎編 日程とテーマ

- 10月1日(木)13:30～
チャレンジャーへの熱いメッセージ
～カウンセラー心の対談～
- 10月15日(木)13:30～
みんなで考えてみよう!
～イギリスの歴史から見る
女性の政治参画～
- 10月28日(水)13:30～
イキイキ! 分野で輝く女性たち
～農業・子育て支援など～
- 11月10日(火)13:30～
仕事と私生活の充実に向けて
～今だからこそ
ワーク・ライフ・バランス～

12月～2月は、ステップアップ編(全5回)を開催予定。

ご存じですか？「子ども110番のおうち」「子ども110番のくるま」

地域ぐるみで子どもの安全確保を図るため、市民のみなさんや事業所のご協力を得て設置されているのが「子ども110番のおうち」・「子ども110番のくるま」です。

設置協力者の方には子どもが助けを求めてきた時に

- ①身柄を保護していただくこと
- ②警察や学校、保護者への連絡をとっていただくこと
- ③状況によって救急車の手配をしていただくこと

をお願いしています。

保護者のみなさんには「子ども110番のおうち」が自宅付近やお子様の活動範囲のどこに設置されているのかを確認し、「その場所はどこか」、そして「どういう時にどうやって活用するのか」を、よく教えてあげてください。

説明会と研修会を開催します

「子ども110番」の事業に関する情報交換、地域防犯活動の先進事例の紹介などを内容とする説明会・研修会を開催します。

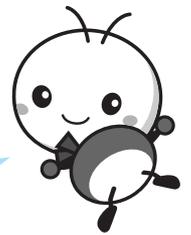
設置協力者の方をはじめ、子どもの安全確保に関心をお持ちの方、設置協力を検討されている方は、ぜひご参加ください。(申込不要)

日時 9月25日(金) 19時～21時

会場 人権総合センターS・Cプラザ

設置協力者を随時募集しています。
ご協力いただける方は、ご連絡ください。

☎ 市教委 まなび推進課 (山東庁舎) ☎ 55-8106 ☎ 55-4040



75歳以上の方の

季節性 インフルエンザ予防接種の自己負担が無料に！



今年75歳以上の方が委託契約医療機関でインフルエンザ予防接種を受けられる場合は、市が接種費用を全額負担しますので、自己負担金が無料となります。

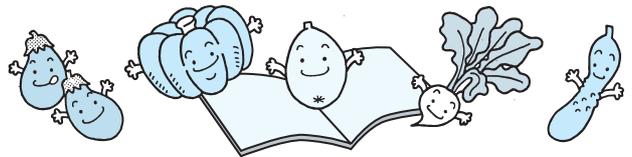
- 無料対象者は75歳以上の方です。(昭和9年12月31日以前に生まれた方) 65歳～74歳の方は、昨年通り自己負担金2,000円で接種できます。
- 新型インフルエンザの影響でワクチン不足が予測されます。お早めにご予約ください。
- 詳細は10月1日号に掲載するほか、対象者には郵送でお知らせします。



☎ 市健康づくり課 (山東庁舎)
☎ 55-8105 ☎ 55-8130

「農業日誌」・「新農家暦」 「ファミリー日誌」 予約受付中！

「農業日誌」・「新農家暦」・「ファミリー日誌」をご希望の方は、お近くの庁舎窓口または情報政策課までお申し込みください。



申込締切 10月20日(火)

☎ 市情報政策課 (米原庁舎)
☎ 52-6627 ☎ 52-5195

企画展のご案内

「柴辻嘉平・里代 油絵二人展」

9月10日(木)～10月4日(日)

醒井水の宿駅 (☎54-8222)

「円空仏を描く～加藤誠 作品展～」

9月12日(土)～11月3日(火)

伊吹山文化資料館 (☎58-0252)



募集

近江母の郷文化センターの 指定管理者を募集します

指定期間満了により、来年度4月から施設の管理および運営いただく方を募集します。応募資格など詳細については、お問い合わせください。
施設名▶近江母の郷文化センター
所在地▶宇賀野1364番地1
募集期間▶9月14日(月)～10月7日(水)
田・園 市 商工観光課 (伊吹庁舎)
☎ 58-2227 ☎ 58-1197



相談

行政書士の無料相談の開設

遺言・相続の手続や各種許認可申請等の行政手続相談など、暮らしと行政の諸手続きについて、無料で相談に応じます。

行政書士電話無料相談

開設日▶10月1日(木) 10時～16時
相談電話▶☎077-525-0360

常設無料相談 (予約制)

開設日▶10月1日(木)
13時30分～16時30分
会 場▶滋賀会館3階(大津市)

許認可手続無料相談所

開設日▶10月3日(土) 13時～16時
会 場▶長浜サンパレス
田 滋賀県行政書士会
☎ 077-525-0360



ご存じですか？ 行政相談委員

日々の暮らしの中で、国の仕事や業務などの手続き、サービスなどについて困っていることやご意見はありませんか。

行政相談委員は、私たちの暮らしをよりよくするため、「苦情救済」や「広聴サービス」を行う総務大臣から委嘱された担い手です。

相談は無料で秘密は固く守られます。電話での相談も受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

市内の相談日時や会場は次のとおりです。

地域別	相談日時	会 場	相談委員
近江地域	毎月第1火曜日 午前10時～正午	近江地域福祉センター やすらぎハウス	まつもと けんしろう 松本 顕様さん 顔戸2119 ☎52-0720
山東地域	毎月第2火曜日 午前10時～正午	【偶数月】 ボランティアセンター三島荘 【奇数月】 柏原福祉交流センター	いまなか きこう 今中 佐公さん 坂口100 ☎55-1778
米原地域	毎月第3火曜日 午前10時～正午	米原地域福祉センター ゆめホール	たなか まさよ 田中 雅代さん 番場654 ☎54-0956
伊吹地域	毎月第4火曜日 午前10時～正午	伊吹健康プラザ 愛らんど	しまだ まさあき 嶋田 正昭さん 高番601 ☎58-0589

原則として相談日は上記のとおりですが、変更する場合があります。伊吹山テレビでお知らせする「心配ごと総合相談」案内でご確認ください。

行政相談は、

滋賀行政評価事務所でも受け付けています。☎ 077-523-1100
「行政苦情110番」☎ 0570-090110

平成22年度 幼稚園・保育園・認定こども園の入園申し込みについて

受付期間 10月19日(月)～10月30日(金)

申し込み方法など詳細については、広報10月1日号、公式ウェブサイト、伊吹テレビ(10月上旬)でお知らせします。

<お知らせ> 来年度から市内のどの幼稚園にも通うことができるようになります。

田 市 こども家庭課 (山東庁舎) ☎ 55-8104

国道8号の ルート切り替え について

ご迷惑を
おかけ
します



現在、米原駅東口付近から梅ヶ原信号交差点までの約1.1km間において、国道8号拡幅工事を実施しています。

工事の進捗に伴って、9月30日から下図のとおり国道のルートを変更することになりました。順次、残りの国道、県道米原停車場線、米原駅東口駅前広場を整備し、平成22年度には国道8号の整備区間全線完成をめざしています。



田 市区画整理課 ☎ 52-6628 ☎ 52-8321



米原市内の交通事故 (平成21年8月31日現在)

件数 124件 (-18件)、死者 3人 (0人)、傷者 171人 (-24人) ※カッコ内は前年比



お知らせ

地域包括支援センターの電話番号が変わりました

高齢福祉課内にある「米原市地域包括支援センター」の電話番号が、高齢福祉課との共用電話から専用電話(☎55-8110)に変わりました。

地域包括支援センターでは、高齢者の方の介護保険サービス相談だけでなく、適切なサービス、機関または制度の利用につなげていくなどの支援を行っています。お気軽にご相談ください。

なお、高齢福祉課のダイヤルイン番号(☎55-8103)は、従来どおり変更ありません。

問 米原市地域包括支援センター
市 高齢福祉課内(山東庁舎)
☎ 55-8110 FAX 55-8130

休日納税窓口のお知らせ

日時▶9月27日(日)9時~17時
場所▶米原市役所近江庁舎
1階窓口

持ち物▶口座振替の手続きを希望される方は、通帳と口座のお届印

問 市 税務課収納対策室(近江庁舎)
☎ 52-3189 FAX 52-6930

月ぎめ市営駐車場のご案内

坂田駅前の月ぎめ市営駐車場に空き区画があります。通勤・通学に便利な坂田駅前市営駐車場をぜひご利用ください。

利用料金▼

市内在住の方 月額3千円
市外在住の方 月額4千円

問・問 市 都市計画課(近江庁舎)
☎ 52-6926 FAX 52-8790

秋の全国交通安全運動がスタートします!

一人ひとりが交通ルールを守り、正しい交通マナーの実践を習慣づけ、全国民総ぐるみで交通事故防止に取り組みましょう。

運動期間▶9月21日(月)~30日(水)

最終日の30日は、「交通事故死ゼロを目指す日」です。

運動の重点取り組み▼

- ①夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- ②全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ③飲酒運転の根絶
- ④前照灯早め点灯の推進

問 市 防災安全課内(近江庁舎)
☎ 52-6630 FAX 52-6930

2009動物愛護フェスティバル

介助犬の紹介、犬のしつけ方教室などの体験コーナーのほか、開業獣医師による健康相談など、イベントが盛りだくさんです。

日時▶10月4日(日)10時~16時
会場▶滋賀県動物保護管理センター(湖南市岩根136-98)

問(財)滋賀県動物保護管理協会
☎ 0748-75-6522

「滋賀県里親大会」が米原で開催されます!

支援の必要な子どもを受け入れ、温かい愛情のもと健やかな成長をへぐくむ里親家庭。大会当日は、県内の実際の里親家庭を描いた混成合唱組曲「祈りの中で」を上演します。

日時▶10月4日(日)13時~16時
会場▶滋賀県立文化産業交流会館
※入場無料です。

問 市 こども家庭課内(山東庁舎)
市里親会事務局
☎ 55-8112 FAX 55-4040

米原市議会議員一般選挙

10月18日(日) 投票日

米原市選挙管理委員会事務局
☎ 52-1552 FAX 52-4447

9・10月は「自動車点検整備推進運動」月間です 国土交通省滋賀運輸支局
点検整備の方法はここでチェック <http://www.tenken-seibi.com>

今月の表紙

ピカピカお鍋でカレーづくり

子どもたちの健やかな発育を願って、おいしく栄養抜群の給食を届ける東部給食センターが本格移動しました。カレーなら一度に1,000人分調理できる大きな鍋からはおいしそうな香りがあふれていました。



水気を切ってごみ減量! 身近でできるCO2削減!

家庭から出る可燃ごみのうち、生ごみは約32%を占め、その約80%以上が水分です。生ごみの水分をよく切ることは、ごみ減量につながり、腐敗や悪臭の発生を抑えます。

さらに、収集車での運搬効率やクリスタルプラザでの焼却効率が上がることでCO2削減にもつながります。

また、伊吹地域で実施している生ごみ分別収集では、ボカシ容器の水を抜くことにより、堆肥化する工程で効率が上がります。

環境ひとくちメモ! ②

生ごみの水切りアイデア

- 野菜くずや果物の皮はぬらさないようにしておく。
 - 水分を含むものは、古新聞などに乗せて乾かす。
 - 野菜の皮もなるべく料理に使う。
 - 三角コーナーを傾けておく。
 - 手でしぼる。
- (環境保全課)



人口41,729人(-25) 男20,457人(-8) 女21,272人(-17) 世帯数13,681世帯(-6)

人のうごき 65歳以上の人口 10,269人 高齢化率 24.61% ※ () 内は前月との比較【平成21年9月1日現在】

「広報まいばら」「市公式サイト」への広告掲載に関するお問い合わせは市 情報政策課 ☎52-6627へ…

◎広報まいばら 広告掲載料金: 1枠 15,000円 (13,300部発行・市内全戸配布)

◎市公式サイト 広告掲載料金: 1枠・1月 10,000円 (月平均アクセス数 18,000件)



「ふるさと応援寄付金」の運用状況を公表します

平成20年度に制定した、「米原ガンバレ！ふるさと応援寄付条例」に基づく寄付金の運用状況をお知らせします。

● 寄付件数および金額

平成20年度に米原市にご寄付いただいた寄付件数および金額は下表のとおりです。みなさんのご協力により315万5千円もの寄付金をいただくことができました。

平成20年度の寄付件数と金額

(注) 件数の合計欄は寄付者数です。

事業の区分	事業メニュー	件数	寄付金額	活用額	基金積立額(基金残高)
ふるさとへの思いに応える事業	①思い出いっぱいの母校を応援しよう	14件	447,000円		447,000円
心やすらぐ自然や風景を守る事業	②伊吹に息吹を、ホテルに輝きを	25件	591,000円		591,000円
	③指定無し	27件	2,057,000円		2,057,000円
	④その他	1件	60,000円	60,000円	
合	計	(60件)	3,155,000円	60,000円	3,095,000円

*当初の募集メニューに掲げていた「世界の巨匠ヒロ・ヤマガタ氏が米原駅にアートを描きます」は事業の見直しを行うことになり、中止が決定しました。寄付者の方にはご意向を確認し、事業メニューの変更等をお願いしました。

● 基金への積み立て

活用した6万円を除いた309万5千円を「米原ガンバレ！ふるさと応援寄付基金」に積み立てました。今後、必要な額を取り崩しながら、該当事業に活用していきます。

● 今後の寄付活用事業

平成21年度

①思い出いっぱいの母校を応援しよう
(寄付金額 44万7千円)

心豊かな米原っ子を育てる取り組みとして、子どもが本を読み親しむ環境づくりのため、学

● 平成20年度寄付活用事業

寄付金のうち、下表「④その他」の6万円を、寄付者の意向に基づき、平成20年度の「放課後キッズ」事業に活用させていただきました。

この事業は、米原っ子が放課後に、安全な場所で思う存分遊べる場所、ゆったりと安心して過ごせる居場所づくりとして実施しているものです。

校図書館の購入に活用させていただきます。

平成22年度

②伊吹に息吹を、ホテルに輝きを
(寄付金額 59万1千円)

四季を彩る美しい山容や、伊吹山固有種をはじめ貴重な植物が数多く生息している植物の宝庫であることから、市民に愛され、多くの観光客が訪れる伊吹山の、植生回復などに活用させていただきます。予定です。

③指定無し
(寄付金額 205万7千円)

寄付金の活用方法や新メニューについては、現在検討しています。

寄付金募集のPRにご協力を！

現在も次のメニューで寄付の受付を行っていますので、市外のお知り合いの方へのPRにご協力をお願いします。

寄付者の方には、感謝の気持ちを込めて、市内の観光施設の割引券や市のシンボルキャラクターを描いた携帯電話クリーナーを記念品としてお渡ししています。

寄付メニュー

「伊吹に息吹を、ホテルに輝きを」

伊吹山、霊仙山、ホテルなど、自然環境を守る事業を行います。

「思い出いっぱいの母校を応援しよう」

米原っ子が大きく羽ばたくための教育活動を行います。



PR用の名刺も作成しています

お問い合わせ 政策推進部 政策秘書課(米原庁舎) ☎52-6626 ☎52-5195